

観光社会資本の事例

テーマ	道路空間を利用したイベント
【施設の状況写真】	
 <p data-bbox="180 846 798 940">国際通りは沖縄で最も活気のある通りであり、観光客の多くが訪れる。</p>	 <p data-bbox="829 846 1441 940">多くの電柱が立ち並んでいるため歩行者の通行の妨げになっているだけでなく良好な都市景観を阻害している。</p>
【施設の利用写真】	
 <p data-bbox="180 1489 766 1585">毎年8月に国際通りで行われる『一万人のエイサー踊り隊』は多くの観光客が訪れる。</p>	 <p data-bbox="829 1489 1412 1585">沿道には多くの観客が集まり大きな歓声を上げた。</p>
【観光資源としての利用状況】	
<p>国際通りは戦後の沖縄復興の代表的な箇所であり「奇跡の1マイル」とも言われている沖縄県で最も賑わいのある通りです。</p> <p>『一万人のエイサー踊り隊』は8月の第一土日に開催され、伝統的なエイサーから創作エイサーの30団体 8000人と一般公募 2000人が、国際通りの11箇所のポイントで勇壮な舞を見せられます。沿道には約15万人の観客(エイサーファン)が訪れ、沖縄観光行事の一大イベントとなっています。</p>	

テーマ	道路空間を利用したイベント
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>○名称 県道39号線(国際通り)</p> <p>○所在地 沖縄県 那覇市</p> <p>○事業名 県庁前線外1線</p> <p>○事業主体 沖縄県</p> <p>○事業期間 平成3年度～平成18年度(予定)</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>県庁前線及び国際通り線は、那覇市の商業、行政、文化の中心地を通るシンボルロードであり、沖縄で最も賑わいのある通りである。</p> <p>当路線は復帰後那覇市のメインストリートとして発展し多くの観光客が訪れているが、歩道において幅員の狭小な箇所や電柱等が多く良好な都市景観を阻害している状況にある。</p> <p>当該事業は広幅員歩道の設置、電線類の地中化等を行うことにより良好な歩行空間の確保や都市景観に配慮した道づくりを行うことにより観光振興、地域の活性化に寄与している。</p>	
<p>【位置図】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
<p>【関連ホームページ】国際通り official web site http://www.kokusaidori.org/</p>	